



# 北見西ロータリークラブ会報

2023～2024年度クラブテーマ

《さあ、親睦の絆を胸に新しいはじまりを》

■創立日 昭和46年4月29日(1971/4/29)  
 ■承認日 昭和46年5月27日(1971/5/27)  
 ■例会場所 ホテル黒部(7条西1丁目)  
 ☎23-2251  
 ■毎週木曜日 12時30分～13時30分  
 ■事務局 ☎25-2824

■会長 齊藤伸一郎 ■会長エレクト 西村 清一  
 ■副会長 松井 順仁 ■幹事 伊東 一志



世界に希望を生み出そう

第2500地区ガバナーテーマ

「今こそ変わる勇気を！ さあ、一步前へ」

第2482回例会

2024年5月9日(木)

ホテル黒部

本日のプログラム

会員卓話 『自己紹介』

高田 有義 会員 プログラム委員会

第2481回 例会記録

2024/4/25

会長挨拶

齊藤会長



今日の例会は創立記念例会です。私は53代目の会長となります。まさか、私が北見西ロータリークラブの創立から53年目の会長として挨拶するとは思ってもありませんでした。本来なら、今日は

夜間記念例会として、わがクラブの53年目を祝うのですが、今年は通常例会での開催とさせていただきました。記念例会ですのでせめてお食事を少し良くしてもらいようお願いしてあります。お食事をしながら自分にとってのロータリーを振り返ってみたいかがでしょうか。そして、本日の記念例会のプログラムですが、会長、幹事担当で「北見西ロータリークラブ53年の歩み、そして……」とさせていただきました。前段は北見西ロータリークラブの歴史を顧みて私がお話し、その後を西村会長エレクトがこれからの西クラブをお話になります。私は北見西ロータリークラブに入会してまだ12年です。本来なら、今日の創立記念例会で西クラブを語るのは、クラブの歴史をつくり上げてくださった多くの先輩会員にお願いすべきと考えていました。しかし、今日は西村会長エレクトから次年度以降に向けてのクラブの現状などのお話もあると思います。通常例会のプログラムですので時間も限られています。で、私が創立年から10年ごとの記念式典や、その歩みの中で感じた事を少しお話し、西村会長エレクトにバトンをお渡しします。資料は北見3ロータリー合同事務所からお借りしました。では、本日の創立記念例会よろしくお願いたします。

天気 (例会時) 最高気温 15℃



昼食

野菜スープ  
 シーフードエスカベッシュ  
 チャックアイロールステーキ 和風ソース  
 ライス  
 ロールケーキ メロン風味  
 コーヒー

■ニコニコボックス 米川親睦活動委員

迫田会員

先週の金曜日に、男の子が産まれました。本当に可愛いです。

角田会員

良い事がありました。

米川会員

今週の土曜日からは、ビート植付作業が始まります。約35丁、15日間！農作業事故のないよう安全近眼の意味を込めニコニコいたします。

鈴木会員

良い事がありますように。

石田会員

最近いい事がないので、いい事が有る様にニコニコします！

土井会員

すごくうれしい事がありました。

- 1) 皆様のレターボックスへ来月の例会出欠のご確認を配布しております。お早めに提出をお願いします。尚、来週5月2日は法定休日となっております例会はございませんので、お間違えの無いようにしてください。
- 2) あらためまして北見4RC親睦ゴルフ大会のご案内です。5月19日（日）温根湯国際カントリークラブです。申込は5月2日までとなっておりますので、是非たくさんの会員様のご参加をお願いします。
- 3) 北見4RC親睦パークゴルフ大会のお知らせを皆様のレターボックスに配布しています。5月25日（土）13：00スタートです。こちらもたくさんのご参加をお願いします。5月10日までに申し込み下さいますようお願い致します。

## 委員会報告

## 社会奉仕委員会 野呂委員長

- 1) 4月21日（日）金比羅山さくら公園にて、清掃活動がありました。齊藤会長始め、沢山の会員の皆さまのご参加ありがとうございました。



2) 本日、台湾東部地震の募金箱を設置させていただき、支援金44,000円が集まりました。地区を通じて送金させていただきます。ご協力ありがとうございました。

プログラム

## 創 立 記 念 例 会

会長・幹事



斉藤会長

北見西ロータリークラブ創立記念例会です。北見西ロータリークラブの一連の歴史は、活動計画書の北見西ロータリークラブ史に載っています。かさなりますが、創立年から10年ごとの創立記念式典を少し辿ってみます。北見西ロータリークラブでは1971年（昭和46年）4月29日に北見農業会館で創立総会と第1回例会を行い、創立メンバー（チャーターメンバー）30名にて発足しました。そして、5月27日付をもって国際ロータリーのメンバーに正式に加盟を承認されました。創立メンバーには北見ロータリークラブより7名、北見東ロータリークラブから5名が移籍されています。チャーターメンバー30名には加藤農夫也会員がいらっしゃいます。初代会長は中村義夫さんでした。

創立10周年記念式典は、1982年（昭和57年）5月9日に、北見経済センターで盛大に行われました。本来は前年の1981年（昭和56年）4月29日が創立10年目だったのですが、その年度（1980～1981年）の会長になられた西世孜能さんが8月で会長をお辞めになり、副会長であった石川巖さんが10代目会長になるという、年度初めにして、会長交代という大変な事態でした。そして石川巖さんは1981～1982年度の11代目会長にもなり、1年10ヶ月におよぶ会長職でした。それで創立10周年の記念式典は1982年5月9日に行われたのだと思います。詳しい事情は分かりません。

創立20周年記念式典は1991年（平成3年）5月26日、北見経済センターで行われました。20代目会長寺前一彦さんでした。

創立30周年記念式典は2001年（平成13年）5月27日、ホテル黒部を会場に友好関係の韓国晋州ロータリークラブからのご参加をいただき行われました。この時の30代クラブ会長は北川憲彰さんでした。ここまでの10周年、20周年、30周年は、物価、為替レート等々経済情勢は今とは大きく違うとはいえ、それぞれの記念講演の講師は著名な方々、記念事業の豪華な寄贈品など盛大な式典だったようです。

そして、創立40周年、創立50周年です。2011年（平成23年）の40周年は東日本大震災により記念事業全体を自粛し、記念式典は中止とし4月16日にホテル黒部にて創立40周年記念例会を実施しました。クラブ会長は40代目小泉勝裕会員です。

創立50周年記念式典は2021年（令和3年）5月15日に計画していましたがコロナ禍で緊急事態宣言が発令され式典は中止となりました。なお、中止となった式典の代替として、6月24日の最終例会を50周年の記念例会として行うことが出来ました。よかったです。50代目クラブ会長は棧邦雄会員です。このように40周年、50周年は思いも寄らない状況となり、会長・幹事、実行委員会の皆様は大変ご苦勞なされたと思います。このようにして53年の時を重ねたのですが、北見西ロータリークラブ創立にあたっては、やはり、創立時のガバナーであられた伊藤元一郎氏の北見市内にもう1つクラブをつくるの熱い思いのもと、北見ロータリークラブの黒部吉一氏、北見東ロータリークラブの中村幸作氏、このお三方のお力によるものと思います。そして、伊藤元一郎創立時ガバナーは北見西ロータリークラブの20周年記念誌の祝辞の中で当時の北見西ロータリークラブを次のように評しています。一部抜粋ですが読んでみます。「…兎に角、北見西RCは総てにアクティブであります。…私達がロータリーに魅力を感じたあの律義で素朴で大らかでしかも品格があって威厳があり心休まる雰囲気は日毎に消え失せ、知性のないボランティアマインドのかけらも見られない自己中心的な愚劣なロータリーに変貌しつつある中で北見西RCは今尚、ロータリーの王道を歩もうとしている姿に頭が下がる思いが致します。……」と語っています。30以上前ですが、当時の北見西ロータリークラブは2500地区で抜きん出た存在だったのでしょう。

そうした時代から今日まで、私たちのクラブはいろいろな事があったと聞いています。私は、その

間の経緯は分かりませんが、それも歴史の1つだと思います。そして私たち西クラブの先輩ロータリアンは紆余曲折の末、いくたの困難を乗り越え現在の北見西ロータリークラブをつくり上げてくださいました。心より感謝申し上げます。私は今の西クラブに入会できてとても良かったと思っています。また、過去の会報などの資料をみますと北見西ロータリークラブの黎明期から急速に成長していた、当時の会員は若さと熱意を持ってロータリーについて学んでいた事が感じられます。当時はクラブ内で問題、課題があれば審議・決定する理事会とは別に西クラブ会員全員で、その問題などを話し合い、事実を共有する機会があったみたいで、全員参加のクラブ・フォーラム・クラブ協議会として行われていたようです。今とは少し違いますね。現在は情報集会（全会員が各班にわかれいろいろなテーマ、問題を本音で語り合う会合）が、その役割をになっていると思っています。

少し、横道にそれますが、クラブ協議会について少しお話しします。先ほど全会員参加しての協議会といたしました。私も西クラブに入会してから何回かクラブ協議会に出席しましたが、クラブ役員・理事、各委員会委員長の会合でした。年4回ほどの報告会のように感じています。ガバナー、ガバナー補佐がいらっしゃる時は新入会員、入会3年未満の会員もオブザーバーとして出席しますね。何も問題はないと思います。が、ロータリーの「六法全書」のようなロータリー章典では「クラブ協議会は、クラブのプログラムと活動もしくは会員教育について協議するために開かれる、クラブ役員、理事、委員会委員長を含むクラブ会員全員の会合である。すべての会員は、協議会に出席することが強く奨励されている。（ロータリー章典7.040.）」となっています。全会員の出席は強くですが奨励です。強制でも義務でもありませんね。現在のクラブ協議会の方法で良いのだと思います。でも、クラブ協議会は会員教育についても協議すると、うたっているのは参考になるのではないかなと思いました。また、年会費の変動も歴史ですね。創立時の年会費は60,000円で、2年後の1973年度は80,000円になっています。1980年度は126,000円で、次の年の1981年度の年会費は150,000円になっています。そして、1990年度の北見西ロータリークラブ細則では、年会費は200,000円となっています。1997年度から一時期180,000円に減額していますが、今日まで30数年間、北見西ロータリークラブの年会費は200,000円のままになっています。以上、中途半端な話になってしまいましたが、53年の歴史があって現在の西クラブがあると思います。そして、次へとつながります。では、その次の一步を、西村会長エレクトをお願いします。



**西村次年度会長**

齊藤会長、大変お疲れさまでした。貴重な例会の時間を拝借して大変申し訳なく思っております。ただ、今回時間を拝借させていただきました。大きな目的は、今の西ロータリークラブの財政的な部分をまずは皆さまにご理解いただきたいと、収支のバランスが大きく崩れているという事が、全会員の方たちが理解をされる所ではないのかなと思いました。来年度、会長を仰せつかりますが、非常に不安に思っているところでもあります。例会の回数なのですが、本来であれば44回前後の例会を開催をすべきなんだろうと思い試算をかけてきた訳なのですが、後ほど説明をいたしますが、なかなか予算を組むことができず、今回この場を借りて、皆さまからご意見をいただいたり、あるいは着地点を目指してみたいなという事で大変貴重な例会の時間を拝借したという事をご理いただきたいと思います。

資料の説明をさせていただきます。それぞれの資料に予算表をつけております。

資料A：年間行事予定表（例会回数44回）年間44回の例会を開催した場合、次年度繰越金▲2,582,401  
これだけ赤字になってしまいますので予算を作る事ができませんでした。

資料B：年間行事予定表（例会回数40回）年間40回の例会を開催した場合、次年度繰越金▲1,944,401  
となり予算が成立しないとことになり、

資料C：年間行事予定表（例会回数38回）年間38回の例会を開催した場合、次年度繰越金▲1,149,401  
の赤字となります。

この38回の例会開催が限界だろうと思いました。この赤字を埋めるために合う収支にすると、30回を切るような例会開催になり、これは西ロータリーの歴史としてはあってはいけない事であろう窪之内会長、齊藤会長が西ロータリーの神髄は親睦であるというお話しをされておりましたし、それを引

き継いで私も来年会長を務めて行きたいと思っておりますので、ここまで例会を減らすという事には、非常に抵抗感があるという状況でした。まずはこの事を、ご理解いただきたいと思っております。

赤字体質になっている大きな要因といたしましては、今年度から、ホテル黒部さんの会場費が、一例会毎に24,200円掛かるようになっております。従前は、会場費の請求はなかったのですが、今年度より24,200円、あるいはクラブ協議会をやった時、情報集会をやった時の会場費それぞれ会場費は違いますが費用が掛かるようになっております。もう一つは食事代の方が今現在、1,936円（税込み）掛かっております、ここの部分も値上がりしております、年間で百数十万支出が増えております。

もう一点、活動計画書、会報この部分は紺野会員の所をお願いをさせていただいております。赤々な業務はさせられないということで、真っ当な金額をだしてくれと、いうことで提示していただきましたが、本来はその金額でお受けする事が一番なんでしょうけれども、それでは予算が成立しないという事で、値引きをしていただいたところですが、資料を見ていただきますと例年よりも金額が増えているところです。

大きな要素としては、会場費・印刷代・食事代、それともう一つ、実は収入の部分において会員数が減っていることに、皆さんお気づきでしょうか？昨年度、黒部会員がお亡くなりなり、亀井会員、今川会員の退会、菅野会員も退会予定という事で、人数が4人ほど減っている、それと休会者が1名いるというところでは、単純に80万程減少している現状です。そのような中で例会の回数を色々と試行錯誤しながら検討してきたのですけれども、38回以上の例会を開催するとすれば、皆さまにご負担をいただかなければいけないだろうと考えております。過去このようなことはなかったのですが、例えば夜間例会などは参加される方に5,000円程度の自己負担をいただき、そこに当ておくと38回で夜間例会が4回と書かれていると思いますので、約115万円のショート分はクリアできるかなと考えております。

来年一年、会費を上げればいいのか？という議論も前回の情報集会の中で発表いただいた意見としてはありましたけれども、まずは自分達が出来る事を考えた時に、例会数を下げる部分に於きましては抵抗感がありましたけれども、僅かながら皆さんのご協力、ご負担をいただきながら、何よりも会員増強を大きく図っていかねば、この問題はきっと来年以降も続くのであろうと思っております。

一般、R I 会長、ガバナーの方針、それと私の会長方針雑駁なものではありましたが、配布をさせていただき、お読みいただいているかと思っておりますけれども、来年度会員増強の部分に於いては10名以上にトライをしてみたいと思っております。それが収支の収入の部分に30万という金額をいれさせていただいております。いつの時点で入会をいただけるか分からないものですから、予算の内訳には入れておりませんが何とか、10名以上増強したいというところで、来年度の会員増強の高田委員長、そして小泉(ユ)副委員長と打ち合わせをして1月位から動きある程度入会確認が取れている方がおります。とは言えまだまだ10人に達する所ではないので、まずは会員皆さんで、会員増強に注力をいただいた中で、財政的な部分をクリアしていくことが出来ないだろうかというのが私からの提案、それと先程申し上げた、夜間例会等のご負担5,000円程度が、妥当かどうか分かりませんが、なんとかクリアになるだろうと。あくまでも予算ですから、増減するような事もあると思っております。出席率に応じてはもしかすると、お金が余っているような状況にもなるかもしれません。それと繰越金の部分に関しては、表を見ていただくと分かるのですけれども、前年度から繰越金が280万円程あると思っております。今年度から来年度の繰越金が約80万円位とここもまだ流動的で、もしかしたら100万円残るのかもしれませんがあるいは80万円、60万円、70万円となることもあると思っております。繰越金が減れば減るほど、この赤字が膨らんでいく状況になりますので、まずはこの状況を皆さんにご理解いただきたいと思っております。せつかく来年会長に任命をいただきましたので、とにかく数多くの例会を開催した中で、親睦を深めて、そして絆を深めていくというところに視点を置いておりましたけれども、38回がきっと限界なのだろうと、会費をあげるという議論においては、来年度以降のところできっと揉んでいただいたのですけれども、会費を上げる前に私ども会員が何ができるかという、若干の負担と会員増強と思っております。38回の例会開催の部分において、活動計画書の提出を

ご依頼したのですけれども、実は年間の行事予定表をお渡しをすることが出来ずに4月22日までと申し上げたのですけれども、自分の委員会が、何月に例会を担当なのか？年間何回例会を担当するのか？このことを解らずして活動計画を書く事はできないという状況をありました。地区の方に交渉し、若干の猶予をいただきました。5月2日までに何とか活動計画書を提出をいただければと思っております。この場で決を取ろうと思ってこの時間を拝借したわけではなくて、まずは現状を理解していただいたうえで、38回という例会開催という形に落ち着くと思いますので、この部分に於いて認識をいただき、加えて夜間例会の際に自己負担をいただくという事を皆さんへお伝えしたかったということでございます。

実は、理事会の中でこういう事を決めればいいのか？という話も出ていました。只、現状の財務状況、収支が理解されずに理事会で決まったからとそうさせていただきますと一方的な決め方をするのが果たしていいのか？と感じた時に、例会の時に話ししてその方向に進んで行くのだろう、わかったよ、と言ってもらえる様なステージを作りたかったという事があります。駆け足で説明をさせていただきましたけれども、ご質問ご意見があればお受けいたします。

【質問】 3クラブで会場の黒部ホテルさんへの相談はされたのですか？

【回答】 合同では相談はしておりませんが、個別で相談させていただいた時は（会場費の減額等は）無理ですとの回答でした、西ロータリーだけでもと話したら余計無理ですと言われました。

【意見】 会費の値上げが難しいとの話でしたが、これだけの経営者の皆さんが集まってそれが出来ないというのは、何かあるのかなと思いましたが、本日の募金で皆さん1,000円をすつと出されているのでこの様式で一回の例会時に1,000円をいただければ気にならないのでしょうか？

【回答】 貴重なご意見ありがとうございます

【意見】 40年を超えるロータリー歴がありまして、私が入会した頃は特別休会は無く、法定休日以外は休みがないという時代を経験して、今随分休会が増えたなというのが実感で、さらに減らしてしまうのは寂しいなど。今の形に改訂したとして、そんなに毎年改定ということにはならないだろうと、これで暫らくは収支がもつとその辺の検討もされたのかなど。

【回答】 検討もいたしました。何より会員増強をする事によって、収支のバランスが保てるだろうと思っておりますので、来年以降も再来年も含めて、多くの入会者を増やしていくことによって財政的な事はクリアできると考えております。当事者意識をもっていて来年度10名以上、ご紹介をいただきながら、財政的なところをクリアしていきたいと思っておりますので、宜しく願い申し上げます。

大変貴重な時間を使わせていただきまして、ありがとうございました。

■ 例会予告	5月16日	会員卓話『自己紹介』	伊澤 弥子 会員	プログラム委員会
	5月23日	会員卓話『小泉ユリカ』	小泉 ユリカ 会員	プログラム委員会

出席報告		出席委員会						
	月 日	会員数 (A)	出席免除者数 (B)	出席数 (免除者含む) (C)	例会に出席した 免除者の数 (D)	事前メークアップ (E)	事後メークアップ (F)	出席率 $\frac{C+E+F}{(A-B)+D} \times 100$
本日例会	4月25日	61	12	44	9	2		79.3%